

# 目的別研究会

## ◆農業部会

### 「大阪圏」へとう売り込む

農業部会は十八日・十九日の両日、庄内地域の農産物の大阪圏への販路拡大に向け、食の都庄内親善大使の古庄浩さんと内閣府地域活性化伝道師の藤村望洋さんを招き、新たな流通の仕組みづくりを図る意見交換と現地視察を行いました。

古庄さんは関西の料理人ネットワークの中で大阪を中心に庄内農産物販路拡大を図り活躍されております。また、藤村さんは大阪市出身で「北前船ネットワーク」を立ち上げ地域再生事業に取り組んでおられます。

今回は部会員の生産現場や産直施設などを視察しながら意見交換を行いました。

意見交換でお二人は「庄内の農産物や加工品は質が高く、種類も豊富で申し分ない。関西圏のネットワークを通じてPRしたい」と高く評価した上で、「関西ではまだ知名度不足。ニーズに添えられるネットワークづくりが不可欠」との提言をされました。

た。

これを受け、今後農業部会として具体的な受け皿づくりを進めていく予定です。



平成 23 年 1 月 18 日開催第 6 回農業

## ◆地域特産品開発研究会

### 『三年目の自立に向けた取組み』

大山上池から産出されるハスの実・花を使った特産品開発

大山支部の会員が中心となり立ち上げた地域特産品開発研究会も今年度で三年目、節目の年度となりました。この間大山上池、下池がラムサール条約の認定を受け、各方面から注目を受ける中で、大山地区ならではの特産品開発事業に取り組んできました。昨年度までハスの実・花を使ったジャム、うどん、おかゆ、ア

イス、まんじゅうの五品の開発に取組み、商品化も見据えた土台作りを行ってきました。

三年目の今年度は成果品をどのように販売に結びつけるか、そのための克服すべき課題等について原料確保から加工、販売といった各段階に沿って検証しました。「上池・下池のハス」としてブランドを確立するには何が必要か、どんなストーリーを吹き込むかまだまだ個々に磨きをかける必要があります。

十月三日には鶴岡市と共催で「湿地の恵み料理創作会」を大山コミセンを会場に開催しました。上池で収穫したハスの実と花を使った料理をこれまでの成果品と新たに考案したメニューで、一般参加者に食の視点から上池のハスの由来等も交え提案しました。総じて参加者からは好評で前向きな意見もいただきました。活動の弾みになりました。ただ、今後の事業推進にあたりネックになっている安定的な原料確保と会員事業所の積極的な関わり、地元住民への認知度を高めるための取組み等を今年度の総括としてまとめ、次年度以降の体制作りをしてまいります。

あなたの企業を伸ばしご家族を守る商工会の共済

# 商工貯蓄共済

貯蓄・融資・生命保険

商工貯蓄共済は3つの特典